

## オーストラリアの人事戦略で成功する為には その41

Q シドニーでは1つの会社での平均勤務年数が2年半、メルボルンでは3年半と言われております。なぜ、オーストラリアに住んでいる方はこの様に早く退職するのでしょうか。

A アジア諸国では、会社で仕事をする際、社内での信頼が最も重要であります。信頼を得るのには相当の年数が必要であります。オーストラリアを始め西洋諸国の場合、アジアの様に社員を信用するという事はありません。なぜなら個人主義の強い社会だからであります。自分の利益の為なら、法に触れた事でもする可能性が高いのです。企業統括の重要性を考えさせられる文化であります。

日本には伝統的に終身雇用制度が存在致します。また、長く勤務しなければ給料が上がらず、年功序列制度もあります。

日本の会社は、和を重んじる為、無駄な社内での競争を避け、会社全体の利益を考える事を優先致します。

これに対して、オーストラリア人及び、オーストラリア永住者は、個人主義、つまり自分が幸せになって初めて会社の事を考えるという傾向があります。また若いうちは、特に英語の出来るアングロサクソン系の人は転職するのも簡単である為、離職率が高くなっております。

従って、社内で問題があり、単なる同僚との口論によって辞める方もたくさんいるのです。

Q なぜ、オーストラリアでは結婚後、出産後も仕事を続ける女性が多いのでしょうか。

A 1960年代に、オーストラリアを始め欧米諸国でウーマンリブ運動がありました。それ以前はオーストラリアでも、日本の様に男性よりも女性が下、という観念がありましたが、ウーマンリブの運動から50年が経ち、この期間で女性の地位はかなり向上致しました。地位を維持する為には、経済的に独立する事が重要であります。そうでなければ、日本に住んでいる女性の様に、夫からの経済援助がなければ生活が出来ない依存型になってしまいます。

オーストラリアに住むアングロサクソン系の男性で、日本や中国などのアジアの女性と結婚する方が多くいますが、自分に依存する女性を望んでいる方が多いからであります。

基本的に、こちらでは夫婦がお互い幸せであれば結婚生活を続ける、そうでなければ離婚する、という考え方です。オーストラリアの離婚率は50%であります。

オーストラリアでは収入を得る事は一般的に夫婦同権であると考えられております。離婚も多いですので、経済的に自立する為、結婚後でも仕事を続ける女性が多いのです。

Q オーストラリアでは定年制度が無いと聞いておりますが、なぜでしょうか。以前から無いのでしょうか。

A 以前はオーストラリアにも、日本の様に、企業により、50歳、60歳で退職という定年制度がありました。例と致しましては、カンタス航空では60歳で定年退職とされておりました。ところが、カンタス航空のパイロットが、60歳で定年により解雇された事を、差別防止法に違反すると裁判を起こし、最高裁でカンタス航空が負けるという事が起こりました。これにより、定年制度が消滅致しました。つまり、オーストラリアでは年齢による解雇は、年齢による差別、不当解雇とみなされるのです。例外として、連邦の最高裁判官は70歳で定年とされています。